

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第37週 (ARIのみ第36週) の発生動向

□ トピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

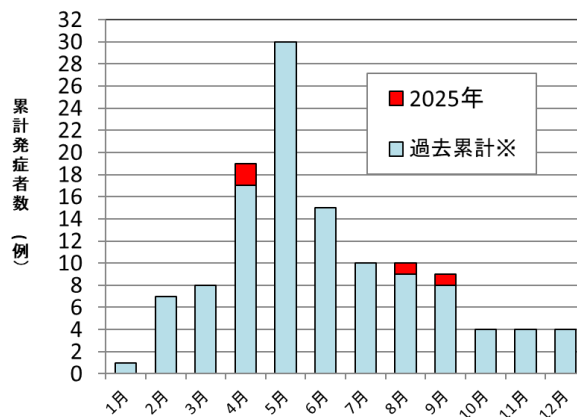
(全数報告の感染症)

延岡保健所管内から報告があった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計121例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
1	1	2	5
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
27	45	33	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2024年まで

□ 全数報告の感染症 (37週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：破傷風1例、百日咳15例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	肺結核	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0～4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、血便、O103(VT1)
			30歳代	男	—	腹痛、その他、O103(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	80歳代	女	—	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少、その他
5類	破傷風	宮崎市	80歳代	男	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害

	疾患名	報告 保健所	報告数	年 齢 群						症 状	
				5～9歳	10歳代	20歳代	50歳代	60歳代	70歳代		80歳代
5類	百日咳	宮崎市	11例	2	5	1	1		1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、 呼吸苦、肺炎
		都城	1例					1			
		延岡	1例						1		
		高鍋	2例	1	1						

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・第37週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は789人(定点当たり39.6)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎、伝染性紅斑で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナであった。また、第36週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,558人(定点当たり55.6)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は502人(17.9)で、前週比104%とほぼ横ばいであった。年齢群別は20歳未満が全体の約6割、60歳以上が全体の2割を占めた。

【伝染性紅斑】

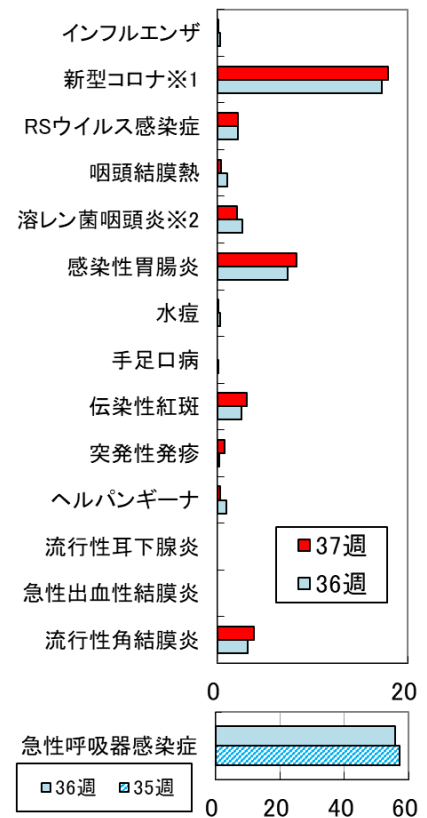
報告数は46人(3.1)で、前週比121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約7.2倍であった。年齢群別は2歳から4歳が全体の半数を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は31人(2.1)で、前週比79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約1.4倍であった。年齢群別は3歳から5歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

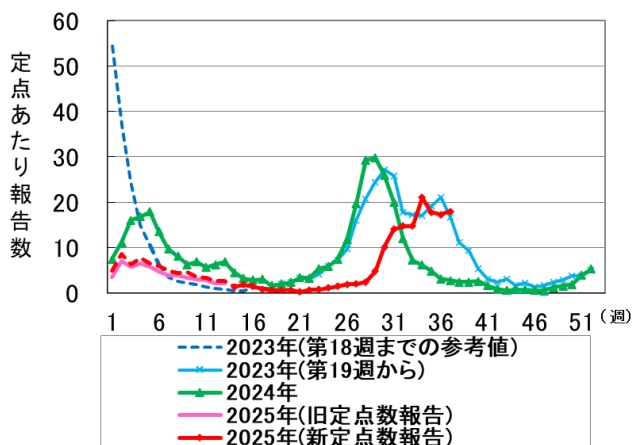
《前週との比較》



定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

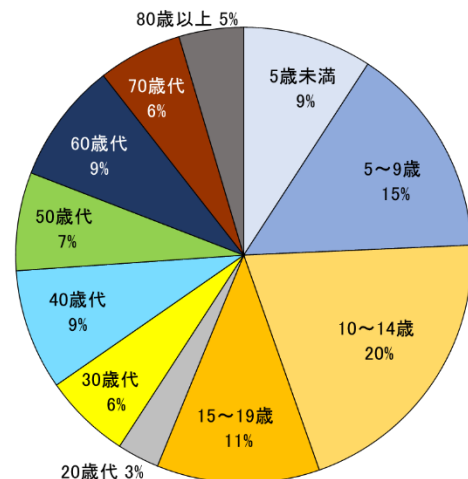
新型コロナウイルス感染症 発生状況



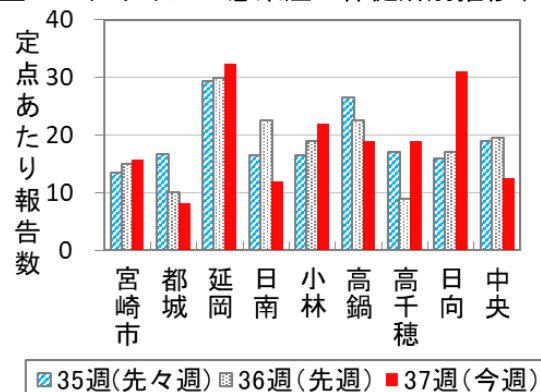
※2025年(新定点数報告)の第14週までは、新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

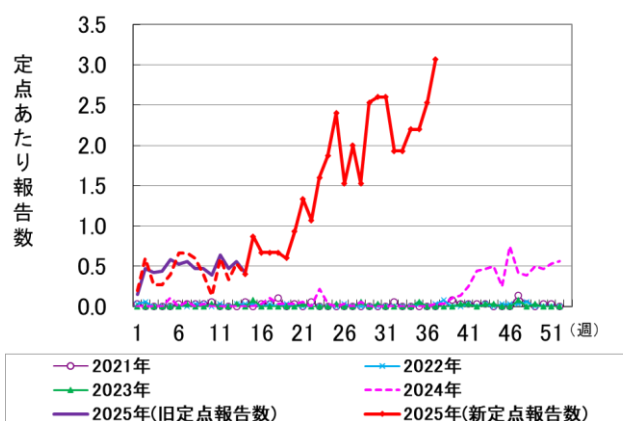
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第37週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

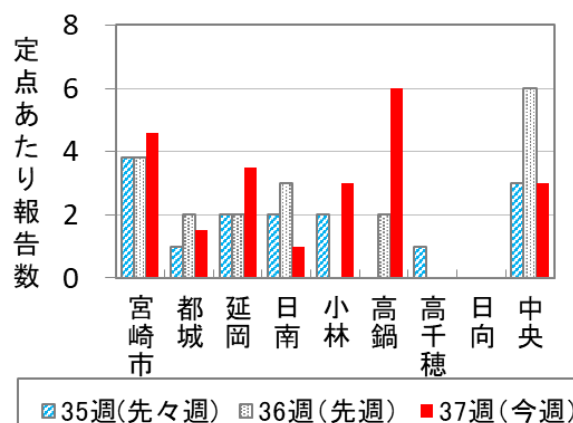


伝染性紅斑 発生状況

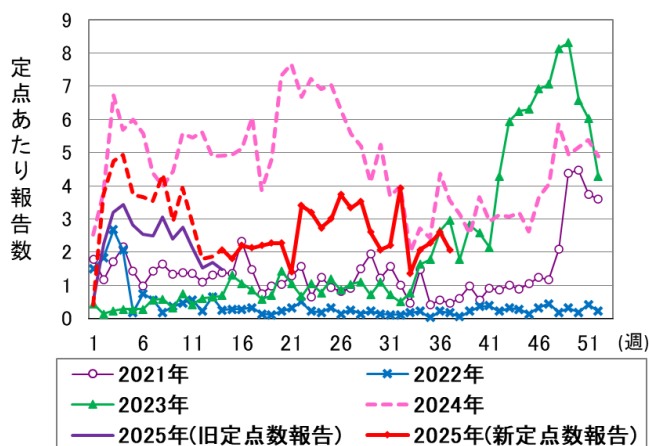


※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3 週分)

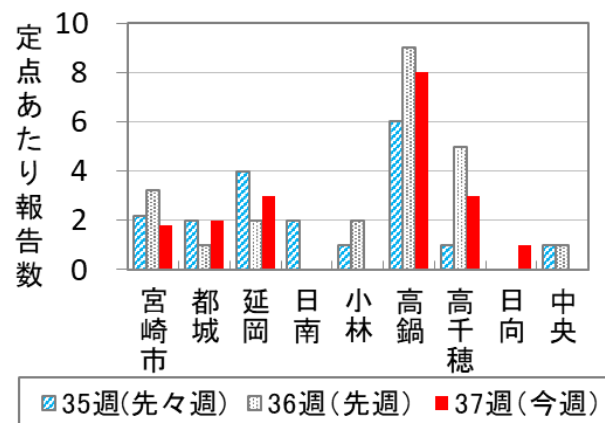


A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 4 例(定点当たり 0.6)で、宮崎市(2 例)、延岡(1 例)、高鍋(1 例)保健所から報告があった。年齢は 5～9 歳が 3 例、0～4 歳が 1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(4.6)
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(3.5)
日南	なし
小林	伝染性紅斑(3.0)
高鍋	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、 伝染性紅斑(6.0)
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(37.0)
中央	伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和 6 年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

（2025 年第 36 週：9 月 1 日～9 月 7 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			3
RSウイルス	A型		1
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		1
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			1
新型コロナウイルス／アデノウイルス			1
検出せず※2			8
受付検体数			15

○ 急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

新型コロナウイルス感染症とアデノウイルスの重複感染例が 1 件あった。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

（細菌・ウイルスについては 2025 年 9 月 15 日までに検出分）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	5～9歳	男	2025.07.28	嘔気・嘔吐、腹痛、下痢	便	2025.08.06
<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	5～9歳	男	2025.08.08	血便	便	2025.08.18
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	10歳代	男	2025.08.08	腹痛、下痢	便	2025.08.15
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	0～4歳	男	2025.08.16	発熱、下痢	便	2025.08.21
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	5～9歳	女	2025.08.22	発熱、腹痛、下痢	便	2025.08.28
EPEC (OUT:HNM)	5～9歳	男	2025.08.21	発熱、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢	便	2025.08.29

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Human parecho virus A5	不明	不明	2025.07.12	感染性胃腸炎、発熱、下痢	便	2025.09.05
Norovirus GⅡ.17[P17]	0～4歳	女	2025.08.02	胃腸炎	便	2025.09.05

✚ 全国 2025 年第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	233 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	156 例	腸チフス	2 例
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	18 例
	レジオネラ症	44 例	レプトスピラ症	3 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	7 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例	水痘(入院例)	9 例
	梅毒	197 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	百日咳	1921 例	麻しん	3 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は R S ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 108%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 31,329 人(8.1)で前週比 97%とほぼ横ばいであった。宮崎県(17.3)、長崎県(13.9)、大分県(13.9)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 4,323 人(1.8)で前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約 5.1 倍であった。佐賀県(7.0)、山形県(5.4)、大分県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の
当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2025 年 8 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人(3.4)で、前月比129%と増加した。また、昨年8月(4.4)の約0.8倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の約1.2倍、昨年8月の約1.1倍であった。

20歳代が全体の約6割を占めた。(男性5人・女性21人)

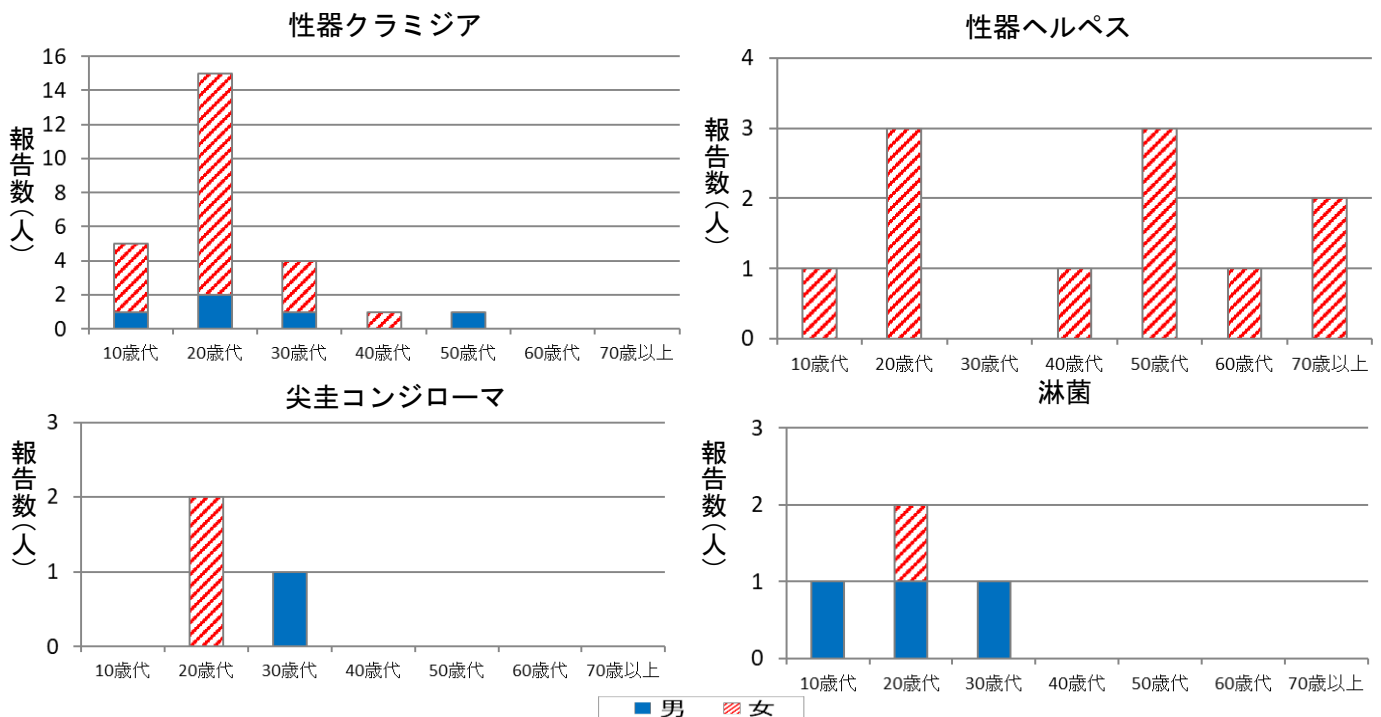
○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.85)で、前月の約1.2倍、昨年8月の0.5倍であった。(女性11人)

○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、昨年8月の3.0倍であった。

(男性1人・女性2人、前月報告なし)

○淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約1.3倍、昨年8月の約0.4倍であった。

(男性3人・女性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,574人(4.6)で、前月比93%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,428人(2.5)で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症858人(0.87)で前月比91%、尖圭コンジローマ536人(0.54)で前月比87%、淋菌感染症752人(0.76)で前月比95%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は12人(1.7)で、前月比86%と減少した。また、昨年8月(3.3)の約0.5倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数12人(1.7)で、前月の約0.9倍、昨年8月の約0.5倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,298人(2.7)で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,268人(2.6)で前月比95%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症23人(0.05)で前月比83%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比33%であった。

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	8	2	1							1	
	定点当り	0.29	0.07	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	484	502	141	33	97	24	44	38	38	62	25
	定点当り	17.29	17.93	15.67	8.25	32.33	12.00	22.00	19.00	19.00	31.00	12.50
RSウイルス感染症	報告数	32	33	18	3	9	1		1			1
	定点当り	2.13	2.20	3.60	1.50	4.50	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	15	6	4			1	1				
	定点当り	1.00	0.40	0.80	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	39	31	9	4	6			8	3	1	
	定点当り	2.60	2.07	1.80	2.00	3.00	0.00	0.00	8.00	3.00	1.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	111	125	30	16	7	8	15	3	3	37	6
	定点当り	7.40	8.33	6.00	8.00	3.50	8.00	15.00	3.00	3.00	37.00	6.00
水痘	報告数	4	2	1		1						
	定点当り	0.27	0.13	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	38	46	23	3	7	1	3	6			3
	定点当り	2.53	3.07	4.60	1.50	3.50	1.00	3.00	6.00	0.00	0.00	3.00
突発性発しん	報告数	3	11	5	1	1	1	2			1	
	定点当り	0.20	0.73	1.00	0.50	0.50	1.00	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	14	4	1		2		1				
	定点当り	0.93	0.27	0.20	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	23	17	4	2						
	定点当り	3.17	3.83	5.67	2.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	4	2		1			1			
	定点当り	0.43	0.57	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第36週 (09月01日～09月07日)

		第35週	第36週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1601	1558	416	164	197	124	108	104	102	202	141
	定点当り	57.18	55.64	46.22	41.00	65.67	62.00	54.00	52.00	51.00	101.00	70.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数 (2025年 第1週 ～37週 保健所受理分)

2類感染症	結核	94例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	25例(2)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例
	レジオネラ症	5例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	梅毒	98例	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	1,348例(15)		

()内は今週届出分、再掲